（様式１）

**筆頭演者の利益相反自己申告書**

**筆頭演者氏名**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 金額 | 該当の状況 | 該当の有る場合、企業名等 |
| 役員・顧問職 | 100万円以上 | 有 ・ 無 |  |
| 株 | 利益100万円以上/全株式の5%以上 | 有 ・ 無 |  |
| 特許使用料 | 100万円以上 | 有 ・ 無 |  |
| 講演料など | 50万円以上 | 有 ・ 無 |  |
| 原稿料など | 50万円以上 | 有 ・ 無 |  |
| 研究費 | 200万円以上 | 有 ・ 無 |  |
| その他報酬 | 5万円以上 | 有 ・ 無 |  |

（様式２）

**日本遺伝カウンセリング学会誌**

**自己申告によるCOI報告書**

著者名：

論文題名：

（著者全員について、投稿時からさかのぼって過去１年以内の発表内容に関係する企業・組織または団体とのCOI状態を記載）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 該当の状況 | 有であれば、著者名：企業名などの記載 |
| ① 報酬額1 つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上 | 有・無 | 例、日本太郎：大西洋製薬 富士山高志：ＡＢC 製薬 |
| ② 株式の利益1 つの企業から年間 100 万円以上，あ るいは当該株式の 5％以上保有 | 有・無 |  |
| ③ 特許使用料1 つにつき年間 100 万円以上  | 有・無 |  |
| ④ 講演料1 つの企業・団体から年間合計 50 万 円以上 | 有・無 |  |
| ⑤ 原稿料1 つの企業・団体から年間合計 50 万 円以上 | 有・無 |  |
| ⑥ 研究費・助成金などの総額1 つの企業・団体からの研究経費を共 有する所属部局（講座、分野あるいは 研究室など）に支払われた年間総額が200 万円以上 | 有・無 |  |
| ⑦ 奨学（奨励）寄付などの総額1 つの企業・団体から医学系研究（共同研究，受託研究，治験など）に対して，申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた年間100万円以上のもの | 有・無 |  |
| ⑧ 企業などが提供する寄付講座（企業などからの寄付講座に所属し ている場合に記載） | 有・無 |  |
| ⑨ 旅費，贈答品などの受領1 つの企業・団体から年間 5 万円以上 | 有・無 |  |

（本COI申告書は論文掲載後２年間保管されます）

申告日　　　　　年　　　月　　　日

Corresponding author （署名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

（様式３）

**役員・委員長・倫理問題検討委員の利益相反自己申告書**

（算出期間：XXXX.4.1〜XXXX.3.31）

|  |  |
| --- | --- |
| （事務局記入欄）  | 受付番号：  |
| 受付日：（西暦）　　　　　年　　月　　日  |

日本遺伝カウンセリング学会理事長　　　　殿

申告者氏名

所属（機関・教室/診療科）名:

本学会での役職名：

本学会所属委員会名：　　　　　　　　　　　　　　○○委員会委員

A.　申告者自身の申告事項

|  |  |
| --- | --- |
| ①企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額（1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載）  | 有・無（該当する方に○） （有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載） |
| 企業・団体名：役割（役員・顧問等）：報酬額： |
| ②株の保有と、その株式から得られる利益（1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5％以上保有のものを記載）  | 有・無（該当する方に○）（有の場合は下記内容を企業ごとに記載） |
| 企業名：持ち株数：申告時の株値（一株あたり）：最近1年間の本株式による利益： |
| ③企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬（1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載）  | 有・無（該当する方に○） （有の場合は下記内容を特許ごとに記載） |
| 企業・団体名：特許名：特許権使用料： |
| ④企業や営利を目的とした企業や団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）（1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載）  | 有・無（該当する方に○） （有の場合は下記内容を企業・資金提供者ごとに記載） |
| 企業・団体名：講演料等の金額： |
| ⑤企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料（1つの企業・団体からの原稿料が年間合計50万円以上のものを記載）  | 有・無（該当する方に○）（有の場合は下記内容を企業・資金提供者ごとに記載） |
| 企業・団体名：原稿料の金額： |
| ⑥企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（1 つの企業・団体から医学系研究（共同研究，受託研究，治験など）に対して，申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○） （有の場合は下記内容を各研究ごとに記載） |
| 企業・団体名：研究名：研究費：申告者が受け取る対価： |

|  |  |
| --- | --- |
| ⑦その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）（１つの企業・団体から受けた報酬が年間５万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）（有の場合は下記内容を各研究ごとに記載） |
| 企業・団体名：報酬内容：報酬額： |

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

該当者氏名（申告者との関係）：

|  |  |
| --- | --- |
| ①企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額（1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）（有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載） |
| 企業・団体名：役割（役員・顧問等）：報酬額： |
| ②株の保有と、その株式から得られる利益（1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5％以上保有のものを記載） | 有・無（該当する方に○）（有の場合は下記内容を企業ごとに記載） |
| 企業名：持ち株数：申告時の株値（一株あたり）：最近1年間の本株式による利益： |
| ③企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬（1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載） | 有・無（該当する方に○）（有の場合は下記内容を特許ごとに記載） |
| 企業・団体名：特許名：特許権使用料： |

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本遺伝カウンセリング学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

申告日 西暦　　　　年　　月　　日

申告者署名